

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

小学生による『減災ポケット「結」プロジェクト』活動報告会 開催案内

東北大学と仙台市防災環境都市推進室が開催する「私たちの仙台防災枠組講座シリーズ『大人も子どももともに学ぼう！じぶん防災行動』特別講座」において、本学が取り組む『減災ポケット「結」プロジェクト』により出前授業を受けた小学生が、減災への取り組みについての発表報告会を行います。

今年度が3年目の集大成を迎えた『減災ポケット「結」プロジェクト』は、東日本大震災での経験を教訓とし、一人ひとりの減災意識を高め、万一の場合の被害を少しでも減らすことを目的に、本学の災害科学国際研究所の保田真理助手らが中心となり取り組んできたものです。災害に対する備えや行動についてのイラスト等が描かれたハンカチを、宮城・福島・岩手県の小学5年生に配布、またそれを用いた出前授業を実施しています。

今回の活動報告会では、出前授業を受けた被災県の小学生たちが、その後どのように減災・防災に取り組み、どのような意識が芽生えたのか、発表してもらいます。

つきましては、紙面・テレビ等で幅広くご周知くださいますようお願い申し上げます。なお、ご取材に際してはFAX送信用紙に必要事項をご記入の上、東北大学総務企画部広報課社会連携推進室（Fax:022-217-4818）までお送りくださいますようお願いいたします。

記

日時：平成 29 年 1 月 21 日（土） 13:00～16:20

会場：東北大学 片平さくらホール

対象者：一般市民の方（無料・要事前申込）

内容：

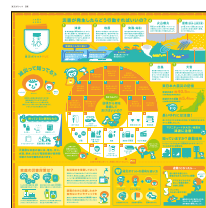
パート 1：

『減災ポケット「結」プロジェクト』減災活動報告会

パート 2：

特別講座「もしもの時どうする？じぶん防災行動計画」

添付資料：開催案内ポスター



減災ポケット『結』
(ハンカチ)



出前授業の様子

以上

【問合せ先】東北大学総務企画部広報課社会連携推進室

電話番号：022-217-5132

E-mail : social@grp.tohoku.ac.jp

東北大学総務企画部広報課社会連携推進室 行

FAX 番号：022-217-4818

御取材を希望される場合は、チェックボックスおよびご連絡先をご記入の上、FAX にて
1 月 20 日（金）15 時までに御返信ください。

日 時：平成 29 年 1 月 21 日（土）13:00～16:20

場 所：東北大学 片平さくらホール

件 名：私たちの仙台防災枠組講座シリーズ「大人も子どもとともに学ぼう！
じぶん防災行動」特別講座

☐ 13:00～14:10 『減災ポケット「結」プロジェクト減災活動報告会』

発表者：これまでに出席授業を受けた宮城県内の小学生

（口頭発表 3 校、他ポスター展示 4 校）

出席者：東北大学 理事（震災復興推進担当） 原 信義

東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦

東北大学災害科学国際研究所 助手 保田 真理

☐ 14:30～16:20 特別講座「もしもの時どうする？じぶん防災行動計画」

講 師：東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦

東北大学災害科学国際研究所 助手 保田 真理

御社名：_____

御所属：_____

御芳名：_____

電話：_____ FAX：_____

Email：_____

(問合せ先)

東北大学総務企画部広報課社会連携推進室

T E L：022-217-5132

F A X：022-217-4818

ともに考える防災の未来 — 私たちの仙台防災枠組 講座シリーズ

大人も子どもも ともに学ぼう！

じぶん防災行動 特別講座参加者募集！

第3回国連防災世界会議で採択された「**仙台防災枠組**」。この文書では、私たち一人ひとりが防災・減災に取り組んでいくことが大切であると記されています。

いつ起こるか分からない次の災害のために…普段の生活の中でどう行動したらいいか、考えてみませんか？

日時

2017年1月21日（土）

パート1：午後1時00分～2時10分

※ 詳細は裏面参照

パート2：午後2時30分～4時20分

※ 詳細は下記参照

定員

各**100名**（無料・要事前申込）

※ 親子でなくてもどなたでも参加が可能です。

（小さいお子様は、保護者と一緒にご来場ください。）

※ 定員に達した場合は、期限内に募集を締め切る場合がございます。

場所

東北大学 片平さくらホール

地下鉄東西線青葉通一番町駅
南1出口より徒歩約15分 または
地下鉄南北線五橋駅
北4出口より徒歩約10分

※ 会場へは公共交通機関をご利用ください。

【特別講座テーマ（パート2の概要）】

「もしもの時どうする？ じぶん防災行動計画」

講師：東北大学災害科学国際研究所 今村文彦 所長、保田真理 助手

もし地震や津波が起きた時、
その場に自分一人だったら…
あなたはどのようにしますか？

この講座では、今村所長が
監修した「じぶん防災行動
計画」の小冊子を使い、も
しこうした事態に私たちが
直面した時に、一人ひとり



今村 文彦 所長



保田 真理 助手

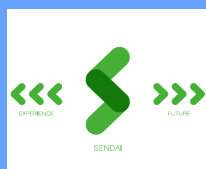
がどう行動すべきかを考えるワークショップを行います。これからの地域社会を担っていく私たち市民が、子どもから大人まで世代を超えて防災・減災への理解を深め、学ぶ講座です。

★講座参加者には、「じぶん防災行動計画(津波編)」小冊子を
プレゼント！

★イベントパート1からの参加も可能です！（詳細は裏面）



「大人も子どもも ともに学ぼう じぶん防災行動」イベント全体(パート1・2)の概要は、裏面をご覧ください。▶▶▶



主催：

東北大学、東北大学災害科学国際研究所、仙台市防災環境都市推進室

仙台市

お申込み・お問い合わせ先：

仙台市防災環境都市推進室

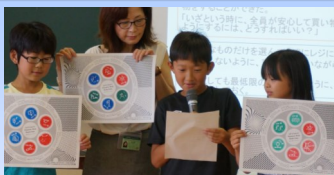
[TEL] 022-214-8098 [FAX] 022-214-8497
[E-mail] mac001605@city.sendai.jp

「大人も子どもも ともに学ぼうじぶん防災行動」 イベント概要

場所：東北大学片平さくらホール

13:00 パート1 「結プロジェクト」 減災活動報告会

これまで「結」プロジェクトで出前授業を実施してきた小学校より、減災への取り組みを報告してもらいます。



「結（ゆい）プロジェクト」 とは？

東日本大震災の経験をもとに考案された減災ポケット「結」（ハンカチ）を活用し、日本と世界へ減災意識を広め、次の災害の被害を少しでも減らすことを目標とした東北大学と仙台放送によるプロジェクト。
現在、宮城・福島・岩手3県やアメリカ、タイなどでも普及活動を行っています。

14:30 パート2

特別講座「もしもの時どうする？じぶん防災行動計画」

東北大学災害科学国際研究所の今村所長と保田先生が分かりやすく解説します。

（講座の詳細については、表面をご参照ください。）



次回のお知らせ

事前ワークショップ「仙台防災未来フォーラム2017」で発表しよう！

日時 2017年2月2日(木)夕方開催予定

「連続講座」で学んだことをまとめ、2017年3月12日に開催する仙台防災未来フォーラム2017で発表するために話し合います。

▼連続講座の開催結果はこちら

第1回 <http://sendai-resilience.jp/post-57/>

第2回 <http://sendai-resilience.jp/post-1756/>



「仙台防災未来フォーラム2017」を開催！

さまざまなテーマセッションやブース展示などを通して、震災の経験や教訓を「伝える」ことの大切さについて考えます。

日時：2017年3月12日（日）午前10時～午後6時

場所：仙台国際センター展示棟

HP：<http://sendai-resilience.jp/mirai-forum2017/>

特別講座 参加申込書

◎ 申込期限 ◎

2016年1月18日（月）午後5時

下記必要事項をご記入の上、**FAX**でお申込みください。**E-mail**でお申込みを希望される場合は、下記の必要事項を入力の上、指定アドレスへ送信ください。

※ 個人のみのお申し込みも可能です。定員に達した場合は、期限前に募集を締め切る場合があります。

※ ご記入いただいた個人情報は、当講座の運営管理の目的で使用いたします。また、今後東北大学災害科学国際研究所や仙台市から、防災・減災に関するイベント情報やお知らせを送付させていただく可能性があります。

申込先

FAX 022-214-8497

E-mail mac001605@city.sendai.jp

ふりがな	性別：男・女	ふりがな	性別：男・女
お名前	年齢：歳	お名前	年齢：歳
(保護者・引率者) ※ 個人でのお申込みも可能です。		(お子様・生徒様) ※ 小さいお子様は、保護者と一緒にご来場ください。	
ご所属		ご所属	
TEL・FAX	- -	TEL・FAX	- -
お住まい	仙台市内・県内(仙台市以外)・その他()	お住まい	仙台市内・県内(仙台市以外)・その他()
参加希望	パート1 ・ パート2	参加希望	パート1 ・ パート2
E-mail		E-mail	
今後の東北大学、仙台市からの情報提供のご希望	要 ・ 不要	今後の東北大学、仙台市からの情報提供のご希望	要 ・ 不要